



JRE 関東

ひびき

JRE 関東地協 機関紙

発行責任者 秋山順一

編集責任者 白居 繁

港区東新橋 2-8-28

一日も早い『民主化闘争』完遂を！！

東京・横浜地本を結成！交渉力確保を！

関東地協の新設。具体的は関東で！！

J=第4回定期大会開催=

「私たちは安心して働ける安全な職場を求め極左暴力集団革マル派の影響力を断ち切るため、強い思いで今日まで民主化闘争を展開してきた」斎藤委員長は静かに、しかし、力強い口調で語りかけた。さらに、仲間の思いを「これまで、たくさんの辛い思いをしてきた。一日も早く完遂させなければならない」と代弁した。また、現在の運動について「私たちは組合員と家族の幸せのため、組合員のための労働組合、組合員のための参加しやすい労働運動を目指し、イーストイノベーションを策定しようと進めてる」とし「現在の労働組合離れの現状をシッカリと受け止め、後輩達に残せる民主的労働組合を継承することが私たちの責務であると思っている」と問題提起した。

組合費については安ければ良いというものではない。必要な活動資金については応分に負担し拡大に活用すべきだ。組織拡大こそが最大のそして最重要課題である。

この1年間田端行動を展開した。私たちの主張を社会に、支社の仲間に理解して戴く意味から大切な行動であると考え。そこで提案であるが以前展開していた。東京総合車輛センター前の行動なども展開すべきではないか。執行部の再考を要請する。

・第24回参議院選挙について「かわい候補」の当選を歓迎する。私達と考えの近い人が増えて戴きたいと願っている。そういった意味では今後もまじめに応援し運動する必要があると考える。

他方総連東労組は唯一の頼みの綱であった「たしろ候補」を失ってしまった。しかし、落選したとはいえ2万票も得票数を増やしている。いまさらながら彼らの運動へのまじめさ愚直さに敬服する。

・私たちの存在をアピールする必要性を痛感している。私たちのユニオンでもホームページが開設された。若い社員はスマホなどで手軽に情報をえている。こうしたことについてしっかり対応する必要がある。私たちの会社にもプロパー社員が働いている彼ら本体の社員になりたいと考えている。JR連合としてJREユニオンとしていかにコミットしていくか。いかに関わっていくかが問題だ。

・チラシについてであるが大事であると思う。インターネットを見ていると若い人の意見が様々述べられている。こうしたものもチラシなどに取り入れていくべきだ。チラシの持つ意義、効果を考えて波及効果を狙うべきだ。

・安全問題であるが常磐線事故に見られる通り経験が生かされていない。まさに「なぜか」との思いがある。

・今回の大会で東京、横浜の各地本が結成される。この事で本部だけでなく別の切り口、間口で話し合いが会社との間で行える。ぜひ現場の声を会社に伝え交渉展開してほしい

今次大会において東京地本、横浜地本を立ち上げ会社への交渉力強化することとした。

選出された役員

関東 委員長 秋山順一 副委員長 大和田義雄 佐藤久雄 菊地博英 中村 明 斎藤弘昭 事務長 高橋佳昌